

# ジアルカ配合錠を 服用される方へ

服用のてびき



医院・病院名

企画：ヴィーブヘルスケア株式会社／東京都港区赤坂1-8-1

JLDR00055-P1812N(V3.0)  
JLC-C-0001(V01)  
作成年月2018年11月(MK)

ヴィーブヘルスケア株式会社  シオノギ製薬

# はじめに

この冊子は、ジャルカ配合錠をお飲みになる方のために、この薬の特徴や服用方法、気をつけなくてはならないポイントなどについて解説したものです。

HIV感染症は、生涯、つき合っていかなければならない病気ですが、現在では治療方法が進歩し、非感染者と同じぐらいの寿命が期待できるようになりました(欧州)<sup>1)</sup>。

しかし、そのためには、長期にわたってきちんと薬を飲み続けることが重要ですので、服用開始前後の体調変化や気になることがあっても、自分の判断で服用を中止したり薬の量を少なくしたりしないで、必ず主治医などの医療スタッフの指示に従ってください。

また、この薬について、わからないことや不安なことがあれば、主治医や薬剤師、看護師などの医療スタッフにいつでもご相談ください。

1) Obel N et al.: PLoS One 6 (7) : e22698, 2011



## Contents

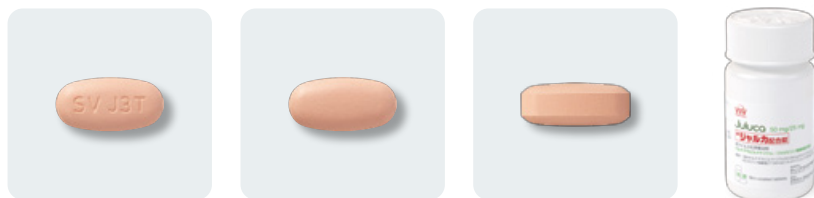
- ジャルカ配合錠はどなんくすり? .....3
- ジャルカ配合錠はどんな人が服用するの? .....4
- 服用方法は? .....5
- 服用に関して注意することは? .....6
- ジャルカ配合錠のはたらきは? .....7
- 副作用のこと .....9
- 他のくすりなどとの併用について .....11
- 服用に際して大切なことは? .....13
- 飲み忘れたときは? .....14



# ジャルカ配合錠は どんなくすり？

## ● こういう形・色をしています

ジャルカ配合錠はオレンジ色の錠剤で、大きさは  
短径 約7.2mm、長径 約14.3mm、厚さ 約5.7mmです。



ジャルカ配合錠(実物大)

ボトル

成分：ドルテグラビルナトリウム、リルピビルン塩酸塩という成分が  
含まれています。

## ● 保管方法

直射日光や湿気を避け、室温(1~30℃)で保管してください。  
また、湿気を避けるため、乾燥剤を同封した元の容器にて  
保存し、使用の都度、密栓してください。  
子どもの手の届かないところに保管してください。



直射日光の  
あたるところ



車の中



湿気



子どもの手が  
届くところ

# ジャルカ配合錠は どんな人が服用するの？

## ● ジャルカ配合錠を服用する方

ジャルカ配合錠は、**HIV-1感染症**の患者さんが服用する  
くすり(抗HIV薬)です。ただし、次のような条件を満たして  
いる必要があります。

- 6ヵ月以上、抗レトロウイルス療法を受け、  
安定してウイルス量が十分に抑えられている人\*
- 治療に失敗したことがない人
- ジャルカ配合錠に含まれる成分のくすりが  
効かなくなった、または効かない可能性がある、  
ということが当てはまらない人



HIV-1：ヒト免疫不全ウイルス1型  
(human immunodeficiency virus-1)

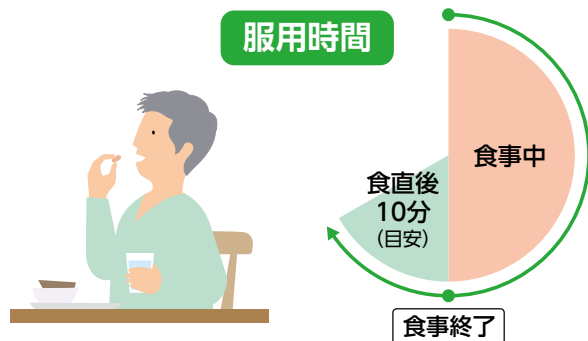
\*：医学的には、「HIV-1 RNA量が  
50コピー/mL未満」とされています。

## 服用方法は？

- **ジャルカ配合錠は1日1回1錠を食事中または食直後に服用します**



ジャルカ配合錠は、食事中または食直後に服用しなければなりません。



治療効果を高めるためには、決められた時間に決められた量をきちんと服用することが重要です。規則正しく食事を行い、服用間隔が同じになるようにしてください。服用時間については、ご自分の生活リズムを考えて決めるとよいでしょう。

主治医の指示に従って服用してください。

## 服用に関して注意することは？

- **ジャルカ配合錠を服用してはいけない方(禁忌)**

- 1) ジャルカ配合錠の成分(ドルテグラビル、リルピピリン)に対して**過敏症**の既往のある患者さんは、ジャルカ配合錠を服用してはいけません。
- 2) 以下のくすりを服用している患者さんは、ジャルカ配合錠を服用してはいけません。

- ◆ リファンピシン(抗生物質)
- ◆ カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトイン、フェノバルビタール(てんかんの薬)
- ◆ セイヨウオトギリソウ: セント・ジョーンズ・ワート含有食品(健康食品)
- ◆ デキサメタゾン[ステロイド薬(内服・注射の場合: 1回のみの投与は除く)]
- ◆ オメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾール、エソメプラゾール、ボノプラザンフマル酸塩[プロトンポンプ阻害薬(胃薬)]

- **ジャルカ配合錠を慎重に服用しなければならない方**

- 1) 不整脈を起こしやすい患者さん
- 2) B型またはC型肝炎ウイルスに感染している患者さん
- 3) 高齢の患者さん
- 4) 妊婦、または妊娠している可能性のある患者さん、授乳婦



上記に該当する方は、  
主治医・薬剤師に相談してください。

# ジャルカ配合錠のはたらきは？

## ● ジャルカ配合錠は、2剤のみによる治療を可能とした世界初の抗HIV薬です

ジャルカ配合錠は、作用点の異なる2種類の抗HIV薬（ドルテグラビル、リルピビリン）を配合することで、体内でHIVが増える過程を抑え、患者さんのHIVによる免疫力の低下を防ぐ効果があります。

これまで、HIV感染症の治療では、3剤以上の抗HIV薬を組み合わせていましたが、生涯にわたる服用が必要であることから、患者さんの抗HIV薬による負担をできるだけ軽くすることが重要とされています。ジャルカ配合錠は、投与する抗HIV薬を2剤に減らすことで、くすりにさらされる回数を軽減することができます。

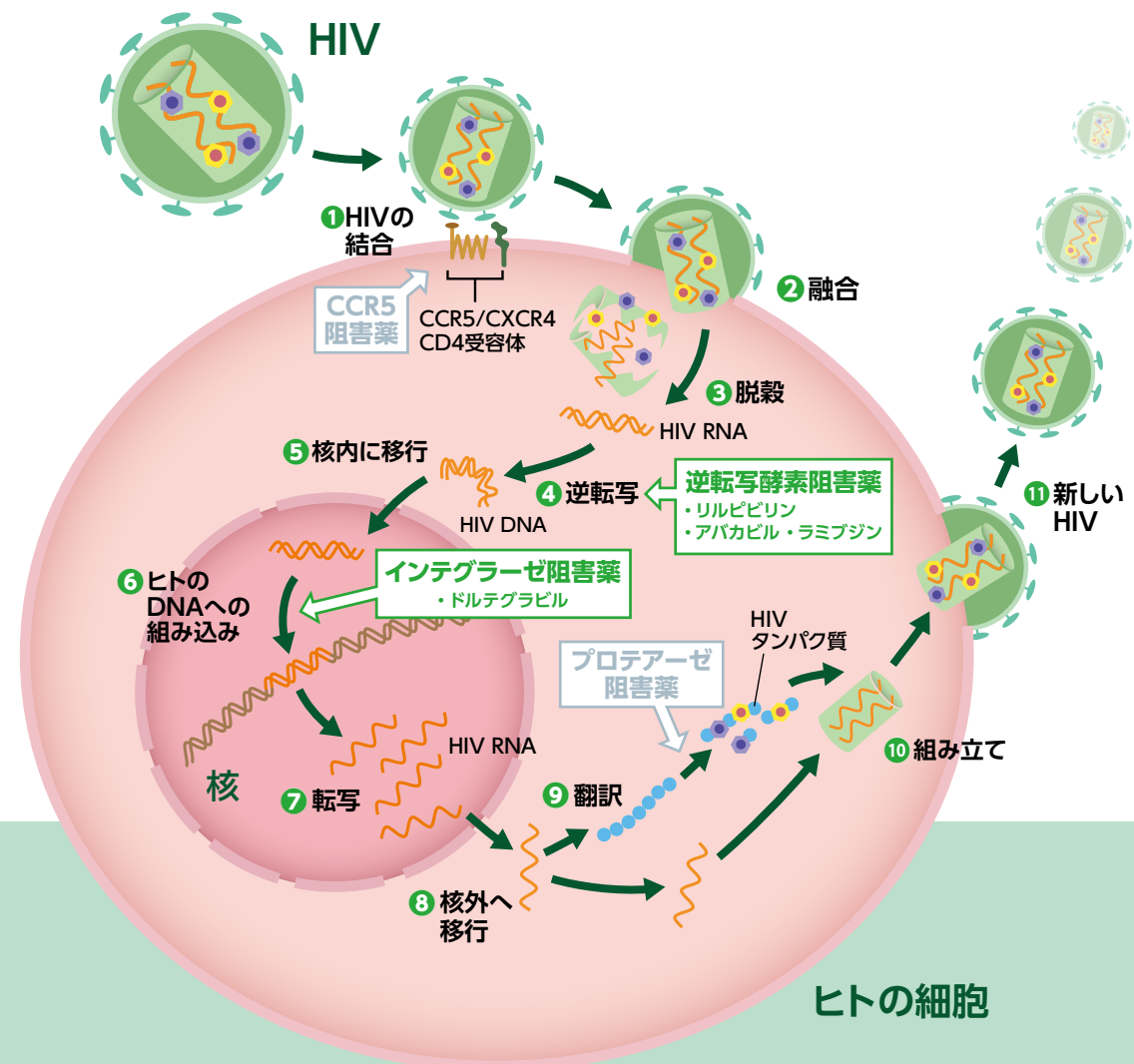
### ◆ ドルテグラビル（インテグラーゼ阻害薬）

DNAに変換されたHIV遺伝子が、人のDNAに入り込むのを防ぎます。

### ◆ リルピビリン（逆転写酵素阻害薬）

HIV遺伝子（RNA）をDNAに変換するのを防ぎます。

## 〈HIVの増殖サイクルと抗HIV薬の作用点〉



Baril JG et al.: PLoS One 11 (2): e0148231, 2016

Pasquau J et al.: AIDS Rev 17 (4): 220-230, 2015

The Antiretroviral Therapy Cohort Collaboration.: Lancet HIV 4 (8): e349-e356, 2017

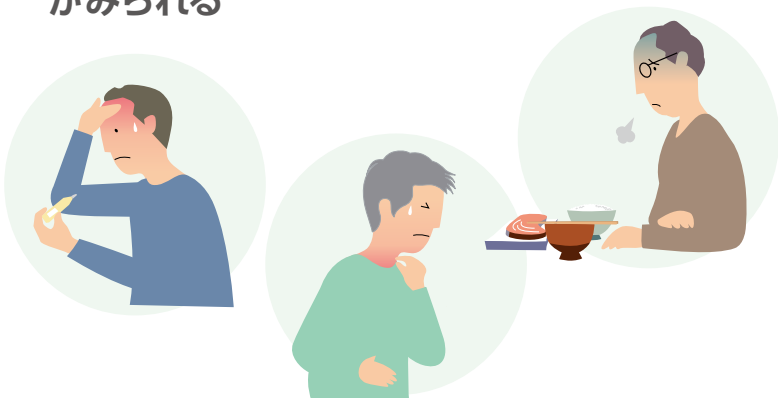
引用文献: 小柳義夫 ほか: 日本臨床 68 (3): 378-381, 2010より作図

# 副作用のこと

副作用の発現には個人差があります。このくすりを服用中に何か体の異常を感じたり、いつもと違うと感じた場合は、すぐに主治医に連絡してください。

## 次の場合は主治医にすぐ連絡してください。

- 「発疹」、「高熱(38℃以上)」、「のどの痛み」、「全身がだるい」、「食欲が出ない」、「リンパ節が腫れる」などの症状がみられ、その症状が持続したり、急激に悪くなったりする
- 検査値(AST、ALT、ビリルビンなど)の異常がみられる



薬剤性過敏症症候群、肝機能障害の可能性があります。

また、人によっては次の症状があらわれる場合もあります。

- 睡眠障害(不眠、異常な夢など)
- 頭痛、めまい
- 気分がふさぐ
- 死にたいと思う
- 不安を感じる
- うとうとしてしまう
- 腹痛、下痢、お腹にガスがたまって張る
- 吐き気、嘔吐
- 疲労感
- 関節・筋肉痛
- 肝臓の検査値異常 など



# 他のくすりなどの併用について

他に併用するくすりがある場合は、主治医または薬剤師 に相談してください。

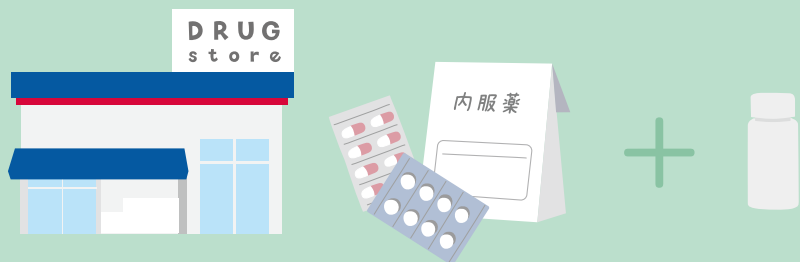
## ● ジャルカ配合錠のくすりの相互作用(飲み合わせ)について

他のくすりや健康食品、あるいはサプリメントなどとジャルカ配合錠と一緒に服用すると、くすりの効果に影響を及ぼしたり、思わぬ副作用が出現することがあります。特に、ジャルカ配合錠では、一緒に服用してはいけなくすりや健康食品がありますので注意が必要です(6ページ参照)。

そのため、薬局やドラッグストアで販売されている市販薬を含め、現在、あなたが服用しているくすり、健康食品、サプリメントなどがあれば、そのすべてを主治医や薬剤師に報告して、ジャルカ配合錠との飲み合わせを確認してください。場合によっては、他のくすりの使用をやめたり、量を減らしたり、変更したりする必要があります。

## ● 他の抗HIV薬を併用する際の注意点

ジャルカ配合錠は2種類の抗HIV薬(ドルテグラビル、リルピビル)を成分として含んでいるため、作用が同じあるいは似ているくすりを重ねて飲むことがないよう、また血液中のくすりの濃度に影響を与える可能性がある抗HIV薬もありますので、注意が必要です。





# 服用に際して大切なことは？

## ● きちんと服用する

HIV感染症の治療ではくすりの量、飲む回数や間隔をきちんと守ることがとても大切です。なぜなら、決められた通りに服用しないと血液中のくすりの濃度が不十分になり、くすりに対する抵抗力（耐性）を持つウイルスが生まれ、くすりが効かなくなってしまうからです。

もうひとつ大切なことは、検査値や症状が良くなったからといって、自己判断でくすりの服用をやめてはいけない、ということです。治療効果を維持するために、決められたくすりを主治医の指示通りにきちんと飲み続けてください。



## ● 副作用について

ジャルカ配合錠を服用していて気になる症状があらわれたら、がまんしないですぐに主治医に相談してください。

## ● 多く服用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、主治医または薬剤師に相談してください。



# 飲み忘れたときは？

## ● 飲み忘れたとき

万が一、くすりを飲み忘れたときは、決して2回分を一度に飲まないでください。気付いたときに、1回分を食事とともに飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

※ジャルカ配合錠を飲み始める前に、ご自分のライフスタイルを振り返り、生活の中にどのように服薬を取り入れるか、または飲み忘れや副作用などが生じた場合の対応などについて、あらかじめ主治医や医療スタッフ（薬剤師や看護師など）と相談し、アドバイスをもらっておくと安心です。

## ★くすりを飲み忘れない工夫（例）



携帯電話や  
スマホアプリの活用



服薬の  
チェック



目につきやすいところに  
くすりを置いておく

### 服薬援助

仕事が忙しい、転職した、転居したなどの理由で生活スタイルが変化すると、服用時間が変わったり服用間隔がまちまちになったりしがちです。服用で何か困ったことがあったら、迷わず主治医や医療スタッフ（薬剤師や看護師など）に相談してください。

HIV感染症について、下記のWebサイトでもご覧いただけます。

- 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター  
<http://www.acc.go.jp/>
- 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター  
<http://www.onh.go.jp/khac/>
- エイズ予防情報ネット (API-NET)  
<http://api-net.jfap.or.jp/>